



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,163	10.2	△22	—	△6	—	△54	—
25年3月期第3四半期	4,687	△2.3	13	△51.6	41	△36.2	18	△76.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 399百万円(305.3%) 25年3月期第3四半期 98百万円(△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△7 87	—
25年3月期第3四半期	2 69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,186	8,990	74.7
25年3月期	10,517	8,601	77.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,361百万円 25年3月期 8,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	12 50	12 50
26年3月期	—	0 00	—		
26年3月期(予想)				12 50	12 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,901	11.9	△8	—	12	—	△42	—	△6 23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名) FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd.、除外 1社(社名)―

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	7,340,465株	25年3月期	7,340,465株
26年3月期3Q	450,963株	25年3月期	449,433株
26年3月期3Q	6,890,163株	25年3月期3Q	6,891,822株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き円安・株高が進行し、輸出関連企業を中心に企業業績も回復傾向にありますが、一方では、円安に伴い、食料品をはじめとする生活必需品の価格やエネルギーコストが上昇傾向になるなど、経済の先行きや個人消費の動向は不透明感が拭えない状況で推移しました。

また、海外におきましては、先行きの不透明な中東情勢に加え、中国をはじめとするアジア地域の新興国経済の下振れリスクが懸念される状況となっております。

当縫い糸業界は、衣料品の一部には消費回復も見られますが、全般には消費者の節約志向が依然根強く、手作りホビーの分野も含めてデフレ傾向から脱却できない上に、中国での人件費の上昇、輸入原材料やエネルギーコストの上昇が製造原価を押し上げるなど、特に生産面において厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、アジア事業においては、課題への取り組みの成果に円安による影響も加わって増収となったほか、国内においても昨秋実施した工業用縫い糸の価格改正に伴う駆け込み受注が寄与して、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,163百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

しかし利益面では、国内事業においては販管費の減少もありましたが、輸入原材料価格やエネルギーコストが上昇して製造原価を押し上げたほか、アジア事業においては、円安による為替差損や人件費の上昇、事業拡大に伴う先行的経費負担などもあって、営業損失は22百万円(前年同期は13百万円の利益)、経常損失は6百万円(前年同期は41百万円の利益)、四半期純損失は54百万円(前年同期は18百万円の利益)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

日本

政府の経済対策の効果により、引き続き円安・株高が進行して、輸出関連の企業業績も回復傾向にあるほか、昨秋には2020年の東京オリンピック開催が決定され、先行きへの期待感は一層高まりつつありますが、足元では、所得環境の回復が感じられない中、円安による食料品など生活必需品の価格上昇もあって、個人消費の回復にはばらつきがあり、衣料品や手作りホビー関連は節約志向が根強くデフレ傾向から脱却できません。

その上、円安に伴う輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇が、製造原価を押し上げるなど、当セグメントのとりわけ生産面においては厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、昨秋、国内の工業用縫い糸の販売価格改正を実施し、これに伴う駆け込み受注もあったことから、当セグメントの売上高は3,962百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

また利益面では、売上高の増加や販管費の減少など、諸策の成果による増益要因もありましたが、製造原価の上昇傾向により、損失幅は徐々に縮小傾向にはあるものの、セグメント損失は90百万円(前年同期は107百万円の損失)となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第3半期連結累計期間には、当社の平成25年4月から12月まで、国内子会社は平成25年2月から10月までの業績が連結されております。

アジア

当セグメントに属する当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、平成25年1月から9月までの業績が連結されております。

当期間のアジア地域の縫製につきましては、中国における様々なリスクや人件費の上昇などを回避するために、特に量産衣料品を中心に、より安価な労働力が確保できる東南アジア諸国への分散傾向が続いており、中国における縫製業は競争が激化するとともに、沿海部からの移動や淘汰も進行しつつあります。

当社グループは、中国においては、衣料用に加え、自動車関連分野にも領域を広げると共に、引き続ききめ細かなサービスや高い品質を武器に販売努力を続けました。また平成23年以降、タイおよびベトナムに販売会社を設立して、アセアン諸国に分散傾向にある縫製市場への対策も進めつつあり、徐々にその成果も表れてきております。これらに加え、円安による影響もあって当セグメントの売上高は1,201百万円(前年同期比35.7%増)となりました。

しかしながら利益面につきましては、原材料価格や人件費の上昇、アジア事業拡大のための先行的な経費負担もあって、セグメント利益は65百万円(前年同期比38.9%減)にとどまりました。

なお、平成23年にタイ国サハ・グループとの合弁で設立した持分法適用関連会社FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd. は、平成25年8月に増資を行い、主に当社がこれを引き受けて連結子会社となったことにより、当第3四半期連結会計期間より、同社の業績が当セグメントの業績に連結されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて669百万円増加し、11,186百万円となりました。主な増減は、流動資産では、受取手形及び売掛金の増加153百万円、電子記録債権の増加45百万円、たな卸資産の増加206百万円、固定資産では、有形固定資産の増加97百万円、投資その他の資産の増加150百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて280百万円増加し、2,196百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加141百万円、長期借入金の増加188百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて389百万円増加し、8,990百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少143百万円、その他有価証券評価差額金の増加139百万円、為替換算調整勘定の増加218百万円、少数株主持分の増加175百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績につきましては、今後の経済効果の浸透、今春実施が決定した消費税増税に伴う駆け込み需要などの影響や中国をはじめとするアジア各国の経済の先行きは不透明ながら、平成25年11月13日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年8月19日付で、持分法適用関連会社であったFUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.の増資を引受けることにより株式を追加取得し、連結子会社としております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,163	2,656,120
受取手形及び売掛金	1,394,206	1,547,920
電子記録債権	—	45,336
たな卸資産	2,892,320	3,099,278
その他	96,620	135,254
貸倒引当金	△8,746	△11,589
流動資産合計	7,075,563	7,472,321
固定資産		
有形固定資産	1,795,436	1,892,874
無形固定資産		
のれん	—	10,935
その他	184,430	197,932
無形固定資産合計	184,430	208,867
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,467,491	1,617,853
貸倒引当金	△5,111	△4,998
投資その他の資産合計	1,462,379	1,612,854
固定資産合計	3,442,246	3,714,597
資産合計	10,517,809	11,186,919
負債の部		
流動負債		
買掛金	570,702	711,801
未払法人税等	46,152	47,600
賞与引当金	66,492	27,765
移転損失引当金	95,602	111,245
その他	423,823	316,827
流動負債合計	1,202,774	1,215,241
固定負債		
長期借入金	41,070	229,354
退職給付引当金	83,286	74,614
役員退職慰労引当金	174,637	182,933
資産除去債務	20,330	20,384
その他	394,237	473,823
固定負債合計	713,561	981,109
負債合計	1,916,336	2,196,351

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,276,511	6,132,670
自己株式	△106,429	△106,917
株主資本合計	7,851,421	7,707,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,586	375,019
為替換算調整勘定	61,491	279,800
その他の包括利益累計額合計	297,078	654,819
少数株主持分	452,974	628,656
純資産合計	8,601,473	8,990,567
負債純資産合計	10,517,809	11,186,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,687,021	5,163,511
売上原価	3,316,345	3,760,354
売上総利益	1,370,675	1,403,156
販売費及び一般管理費	1,357,474	1,425,792
営業利益又は営業損失(△)	13,201	△22,635
営業外収益		
受取利息	4,151	9,291
受取配当金	16,403	19,571
その他	33,286	23,844
営業外収益合計	53,841	52,706
営業外費用		
支払利息	3,011	5,678
為替差損	7,387	24,432
持分法による投資損失	12,244	3,542
その他	2,991	2,937
営業外費用合計	25,634	36,590
経常利益又は経常損失(△)	41,407	△6,519
特別利益		
固定資産売却益	—	66
受取補償金	125,400	—
特別利益合計	125,400	66
特別損失		
固定資産除却損	546	41
移転損失	8,070	—
特別損失合計	8,616	41
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	158,191	△6,495
法人税、住民税及び事業税	29,929	36,972
法人税等調整額	52,136	△8,617
法人税等合計	82,065	28,355
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	76,125	△34,850
少数株主利益	57,586	19,357
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,539	△54,207

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	76,125	△34,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,780	139,432
為替換算調整勘定	△9,011	294,878
持分法適用会社に対する持分相当額	786	463
その他の包括利益合計	22,555	434,774
四半期包括利益	98,681	399,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,354	303,533
少数株主に係る四半期包括利益	56,326	96,391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,801,994	885,026	4,687,021	—	4,687,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278,773	393,390	672,164	△672,164	—
計	4,080,768	1,278,417	5,359,185	△672,164	4,687,021
セグメント利益又は損失 (△)	△107,571	106,394	△1,177	14,378	13,201

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額14,378千円は、セグメント間取引消去によるものです。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,962,103	1,201,408	5,163,511	—	5,163,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	299,250	471,129	770,379	△770,379	—
計	4,261,353	1,672,537	5,933,890	△770,379	5,163,511
セグメント利益又は損失 (△)	△90,846	65,005	△25,840	3,205	△22,635

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,205千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、平成25年8月19日付で、タイ王国にて縫製用ミシン系の販売業を営む持分法適用関連会社であるFUIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.の増資を引き受けることにより株式を追加取得し、みなし取得日を平成25年6月30日として連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「アジア」のセグメント資産が261,686千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年8月19日付で、持分法適用関連会社であるFUIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.の株式を追加取得し、平成25年6月30日をみなし取得日として連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、「アジア」セグメントにおいて、10,935千円であります。